

広げようみんなのでつなぐ 救命の場



9月9日を『救急の日』とし、この日を含む1週間を『救急医療週間』とし、全国各地で応急手当の講習会など救急に関する様々な行事が実施されています。

大隅曾於地区消防組合は、『救急の日』の9日(日)に町総合体育館において救急講習会を開催しました。

講習会には曾於郡内の自治会や医療機関、企業などから約100人が参加しました。

参加者は、16の班に分かれ、応急手当の基礎知識、救急処置の流れ、心肺蘇生法(実技)、止血法などを学びました。

消防組合によると昨年の大崎分駐所からの出場件数は、770件。種別で見ると『急病』が525件と最も多く、全体の68%を占め、次いで一般負傷80件、交通事故76件の順でした。

急病の中でも最も緊急を要するものは、心臓や呼吸が止まってしまった場合です。

その原因としてあげられる急性心筋梗塞や脳卒中などは、何の前触れもなく起こることがあり、心臓と呼吸が突然とまってしまいうことがあります。

心臓が突然止まるのは、心臓がプルプルと細かくふるえる『心室細動』によって生じることがすくなくありません。この場合には、できるだけ早く心臓に電気ショックを与え、心臓のふるえを取り除くこと(除細動)がとても重要です。

AED(自動体外式除細動器)とは、この電気ショックを行うための機器です。コンピュータによって自動的に心室細動かどうかを調べて、電気ショックが必要かどうかを決定し、音声メッセージで電気ショックを指示してくれますので、一般の人でも簡単に確実に操作することができます。

心室細動になってから電気ショックを行うまでの時間が遅れるごとに、生存率が低下することが知られています。

救命のリレーは、現場に居合わせた人から始まります。倒れた人を見かけたら勇気をもって救命のリレーに参加してください。

あなたの愛する家族や仲間が緊急の事態に遭遇したときに適切な応急手当ができるように、日頃から応急手当を学び、身につけておきましょう。

町内の主なAED設置場所(公共施設、学校、保育所など)

まずは、AEDがどこに設置されているか把握しておくことが、救急処置への第一歩です。

- 大崎町役場 ■保健センター ■大崎町中央公民館 ■大崎町総合体育館 ■くのに松原キャンプ場 ■あすばる大崎
- 大崎小学校 ■大丸小学校 ■中沖小学校 ■持留小学校 ■菱田小学校 ■野方小学校 ■大崎中学校 ■菱田中学校
- 大崎第一中学校 ■大崎幼稚園 ■大崎保育園 ■南光保育園 ■菱田保育園 ■野方保育園 ■中沖保育所 ■大丸保育所